

## 平成26年度 決算報告書

国立大学法人筑波技術大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	2,498	2,538	40	(注1)
施設整備費補助金	—	123	123	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	—	—	—	
国立大学財務・経営センタ ー施設費交付金	17	17	0	
自己収入	403	403	0	
授業料、入学料及び検定 料収入	225	223	△2	(注3)
附属診療所収入	111	116	5	(注4)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	67	64	△3	(注5)
産学連携等研究収入及び寄 附金収入等	25	268	243	(注6)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	41	41	(注7)
計	2,943	3,390	447	
支出				
業務費	2,900	2,970	70	(注8)
教育研究経費	2,729	2,728	△1	
診療経費	171	242	71	
施設整備費	17	140	123	(注9)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	—	—	—	
産学連携等研究経費及び寄 附金事業費等	25	57	32	(注10)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	1	1	0	
国立大学財務・経営センタ ー施設費納付金	—	—	—	
計	2,943	3,168	225	
収入－支出	—	222	222	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、前年度からの繰越があったこと等により、予算額に比して決算額が40百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった国からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が123百万円多額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、在学者の減等により、予算額に比して決算額が2百万円少額となっています。
- (注4) 附属診療所収入については、主として患者数が増加したこと等により、予算額に比して決算額が5百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として財産貸付料収入が減少したことにより、予算額に比して決算額が3百万円少額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、寄附金や受託研究等収入の獲得が好調だったこと及び筑波技術大学基金からの繰越があったこと等により、予算額に比して決算額が243百万円多額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、診療棟新棟建設事業等のために、予算額に比して決算額が41百万円多額となっています。
- (注8) 業務費のうち教育研究経費については、主として管理的経費の減等により、予算額に比して決算額が1百万円少額となっています。また、診療経費については、主として診療棟新棟建設事業の実施や診療所職員の退職に伴う退職手当の支給等により、予算額に比して決算額が71百万円多額となっています。
- (注9) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が123百万円多額となっています。
- (注10) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)に示した理由により、予算額に比して決算額が32百万円多額となっています。